

講習の名称：発達障害児への理解と支援

担当講師：霜田 浩信（共同教育学部教授）

講習開講日：令和3年12月11日

時間数：6時間

主な受講対象者：通常学級における特別支援教育を学びたい教諭・養護教諭

キーワード：特別支援教育 発達障害

講習の概要：

子どもが示すつまずきへの支援は、ただ表面的なつまずきに気づくだけではなく、「なぜつまずくのか」といったつまずきの原因を探ることが大切です。「指示通りに行動ができない…」といった表面的なつまずきにのみ着目するのではなく、「指示の内容が分からなかった」「指示を聞き逃した」等、つまずきの原因を捉えることができるとその原因に基づいた適切な指導や具体的な支援の工夫につながります。本講義では発達障害の子どもが示しやすいつまずきの原因とそれに基づいた支援方法のいくつかを解説します。

講習の展開：

第1時限 つまずきの原因に基づく支援の大切さ・本人に向き合うことの大切さ

第2時限 発達障害児が抱える7つのつまずきパターン1

第3時限 発達障害児が抱える7つのつまずきパターン2

第4時限 気持ちの調整、発達段階に応じた行動の調整

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：特になし。

授業の形式：「同時双方向型」（Zoomによるリアルタイム配信）

講義形式が中心ではあるが、発達障害の疑似体験を含める。

履修認定試験：

論述形式の筆記試験を予定。ノートと配布資料は持ち込み可能。

テキスト・参考文献：

講義に関する資料を配付予定